

福祉香川

地域共生社会の実現に向けた香川県内の取組み	2・3P
香川県社会福祉大会 シリーズかがわの社協 三木町社協の避難所体験防災訓練	4P
シリーズかがわの子ども食堂 栗林こども食堂 生命保険協会香川県協会からの車両贈呈	5P
ご存知ですか？福祉サービス第三者評価	6P
香川県共同募金会からのお知らせ	7P
介護の資格 届出制度について	8P



「栗林こども食堂」の様子(詳細は5P)



子どもの育ちを真ん中に据えた、多世代の居場所 「栗林こども食堂」

(高松市)

高松市内を東西に走るJR高徳線の高松市架下、香川医療生活協同組合（以下、医療生協）研修室で、平成30年7月から月に一回、「栗林こども食堂」が開催されています。

ネーミングの由来にもなっている高松市栗林町は、古くから商店街として栄え、栗林小学校や桜町中学校の校区として子どもの数も多い地域です。

実施団体である『へいわこどもクリニック（以下、クリニック）』の小児科・中田耕次医師は「これまでクリニックで関わってきた中で、生活面や健康面について気になる世帯に対しては『おてらおやつクラブ※』の食材をお渡ししていました。そんな中、子どもや保護者が誰でも気軽に集まれる居場所づくりが必要と感じるようになり、参加しやすい土曜日に、参加費無料の子ども食堂を始めました。」と、開設のきっかけを話してくれました。

子ども食堂の運営資金はクリニック職員や医療生協組合員からの寄付で賄いながら、運営はクリニック職員が中心となり、同組合員や地域の方もボランティアとしていっしょに活動しています。

取材当日の平成30年12月15日は16時頃から子どもたちが集まりだし、近所の公園で遊んだり、室内でクリスマスケーキの飾りつけをしたり、宿題をしたり、トランプゲームをするなど、夕食までの時間をそれぞれが自由に過ごしていました。



この日のメインメニューは子どもたちの大好物のオムライスとフライドチキン。テーブルを囲み、みんなでにぎやかな食事をしていました。

食後にはサンタさんがサプライズで登場し、クリスマスプレゼントをもらった子どもたちは大喜びでした。

同クリニックの岡野夏江看護師は「気になる世帯には直接声をかけて食堂に誘ったり、子どもが一人で来られない世帯に対しては、送迎もしています。ただ、本当に居場所が必要だなあ、と感じているのになかなか来てもらえない子どもや保護者が一定数います。今後、そういったご家庭にどうやって来てもらうかをスタッフみんなで考えていきたいですね。」と、今後の展望を語ってくれました。



（※お寺にお供えされる様々な「おそなえ」を、仏さまからの「おさがり」として子どもをサポートする支援団体や経済的に困難な状況にあるご世帯へ「おすそわけ」する活動）

生命保険協会香川県協会 福祉巡回車贈呈式

平成30年11月6日、高松市観光通の香川三菱自動車販売株式会社において、一般社団法人生命保険協会香川県協会展本豪会長から高松市社会福祉協議会へ、福祉巡回車両一台が贈られました。

生命保険協会香川県協会は、地域サービスネットワークの構築活動として募金活動をはじめ献血活動などの社会貢献活動を行っています。平成6年度より実施している「愛のともしび募金」活動は、県内生命保険会社23社から寄せられた浄財等にもとづき、在宅福祉サービスが円滑かつ迅速に行われるための巡回用の軽車両を関係機関に寄贈するもので、今年度で累計75台となります。

贈呈式に出席した高松市社会福祉協議会の氏部隆会長は「いただいた車両を有意義に活用し、法人による成年後見事業や日常生活自立支援事業等、地域における権利擁護の推進により一層邁進していきたい」と謝辞を述べました。

